令和６年度　校内研究全体計画

学校教育目標　**志を持ち自ら考え行動できる生徒の育成**

めざす生徒像
①基本的なルールやマナーを守り、秩序と責任ある行動ができる生徒
②心身ともに健康で、他人を思いやり自他の生命と人権を尊重する心豊かな生徒
③夢や希望を持ち、自ら意欲的に学習する生徒
④自分の考えを持ち、切磋琢磨し、互いに協力し高めあえる生徒

生徒の実態
・根拠をもとに意見を述べることができる。
・教師の問いかけに答えようとする姿勢が見られるが、その生徒が固定化している。
・家庭学習の習慣が確立していない生徒ほど基礎的・基本的な内容が定着していない。
・チャイム席や授業中の離席など、授業規律が徹底できていない生徒がいる。

本校の教育課題
① 基礎学力の定着及び思考力・判断力・表現力等の向上
② よい人間関係を築き、いじめ防止・不登校解消を意識した学校経営力の向上
③ 地域の構成員としての自覚の向上

本年度の重点目標
自ら考え・判断し、自ら表現・行動できる生徒の育成

保護者・地域の願い
○生活に必要な基礎学力の定着
○人間力を高める学力の向上
○家庭学習習慣の定着
○進路保障

研究主題
思考力・判断力・表現力を高める学習指導
～見通しを持つ場面と根拠をもとに書く活動を設定した学習過程を通して～

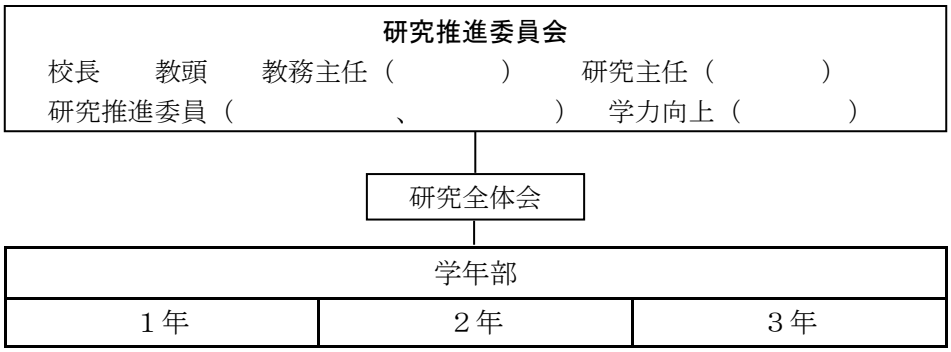
主題設定の理由
生徒の実態として、定期考査および標準学力調査などの結果から、思考力・判断力・表現力が乏しく、また、無解答の生徒も一定数存在している。昨年度はそれらの力を育むために、思考ツールを用いた授業展開を手立てとし、情報の整理から意見の構築を目指していった。さらにタブレット端末を活用（ロイロノート）することで、意見の集約のみならず、比較・検討などから多角的に捉え、課題に対する意見を深化させることに効果的であった。さらに思考力・判断力・表現力を高めていくために、本年度は副主題を「見通しを持つ場面と根拠をもとに書く活動を設定した学習課程を通して」と設定した。具体的には、1 単位時間の中で、ペアや小集団等での交流と、それをもとにした書く活動に重きを置く。交流は授業展開部の始めに設定し、課題を解決するための方向性を見出すことが目的である。そして一人一人が根拠を明確にした状態で課題に臨むことで、書く活動を充実させていきたい。本校の課題である、思考力・判断力・表現力をさらに育むためには、書くべき内容を整理し、根拠と意見の整合性を高める中で、最適解を導き出すことが不可欠であるため、学習課程の中の交流による思考、そして書く活動において自ら判断し、根拠をもとに表現することは有意義であると考える。

校内研究の重点目標
① 課題解決のために必要な知識・技能の定着を目指す
② 自ら思考・判断・表現する活動を取り入れた学習指導の工夫

研究の内容
○課題に対する見通しを持つための交流活動の設定
○根拠を明確にした書く活動の充実

研究方法
(1)講師招聘による理論研究
　○思考力を高める交流活動の指導　○書く活動を充実させる授業実践
(2)授業研究を通した取組
　○課題の解決に向けて、見通しを持つことができる交流活動を仕組む。
　○自分の意見に対する根拠に、整合性がある文章表現をする活動の設定。
(3)日常の取組
　○講義型の授業からの脱却と生徒の意見をもとにした授業展開の充実。
(4)共同研究体制
　○教科別・領域別で協働して教材研究や指導案審議、授業参観等を行い、研究を深める。
(5)研究の有効性を検証する
　○全国学力・学習状況調査、県学力実態調査、標準学力調査、定期考査などでの評価を行う。

研究組織



研究計画

学期	月	取組	内容
一学期	4	校内研修会 研究推進委員会	○主題、副主題の検討・決定　○研究計画の検討 ○研究内容・方法の確認　○研究授業の計画と指導案様式の検討 ○めざす生徒の姿・評価について　○学力向上プランの周知 標準学力調査(1･2 年) 全国学力・学習状況調査(３年)
	5	研究推進委員会 校内研修会	○公開授業参観のポイントについて ○学習に関するアンケート内容の検討 ○指導案審議 ○校内検証授業　全員参観　講師招聘
	6	研究推進委員会	市標準学力調査(1･2 年)分析 県学力状況調査(1･2 年) 学力実態調査(3 年) 全国学力・学習状況分析
	7	学習アンケート 研究推進委員会	○実施・集計・分析 ○学習に関するアンケートの結果について ○１学期の研修の成果と課題の確認
二学期	8	校内研修会	○学力調査結果の分析 学力検査(全学年)分析 ○１学期の研修の成果と課題の確認 ○教科経営案の見直し、修正　○学力向上プラン(２学期)の検討 課題テスト(1･2･3 年)
	9	研究推進委員会	○2学期の校内授業研・研修計画について 課題テスト分析(全学年)
	10	研究推進委員会	○指導案審議 標準学力調査（1，2 年） 学力実態調査(3 年)
	11	校内研修担当者 授業研究会	○公開授業の参観、授業検討会
	12	学習アンケート 研究推進委員会	○実施・集計・分析 学力実態調査(3 年)分析 ○２学期の研修の成果と課題の確認
三学期	1	研究推進委員会	○１年間の研究のまとめ・次年度研究の方向性の確認 学力検査(３年) 学力検査(1･2 年)分析
	2	研究推進委員会	○1年間の研究のまとめ・次年度研究の方向性の確認 ○R７学力向上プランの作成
	3	校内研修会	○次年度の研究主題（副主題）の決定

○朝自習におけるタブレットドリルの活用　○公開授業の実施